

## 羅臼湖についての検討状況

## 1. 羅臼湖会合の開催

11月17日 第1回羅臼湖会合

[議題] 会合の目的と議論の進め方

平成22年度羅臼湖関連事業について(中間報告)

羅臼湖の利用のあり方について

歩道周辺の湿原等保全について

3月1日 第2回羅臼湖会合を開催

[議題] 羅臼湖歩道のあり方について

今後の検討について(植生保全のための歩道付替について)

## 2. 会合での合意事項

- ・ 羅臼湖地域の価値として、貴重な湿原群であること、知床の自然やその大切さを学べる利用地域であること、静寂な雰囲気の中で利用できること、の3点であることを確認した。
- ・ 羅臼湖に関する基本原則として、歩道利用等が羅臼湖地域の価値を損なわないようにすること、質の高い利用を実現すること、歩道施設の規模は最小限とすること、羅臼湖に関する取り組みは関係者の連携協力のもと行うこと、の4点について合意した。
- ・ 歩道施設の整備水準について、軽登山程度の装備を有した利用者を想定し、植生保全の観点から必要最小限とすることとした。
- ・ 羅臼湖の利用ルールを作成し、利用者に周知を図ることとした。
- ・ 歩道が湿原植生に影響を及ぼしている箇所については植生保全のための歩道付替を行うこととした。付替ルート検討にあたっての基本的な考え方(貴重な植生に影響を及ぼさないルートにする、羅臼湖地域の魅力を伝えられるルートにする、木道等が少なくすむルートにする、関係者の十分な協議により検討を進める)や検討手順について合意した。

## 3. 今後のスケジュール

平成23年度は羅臼湖会合の開催頻度をあげ、下記項目等について並行して検討を進める予定。また、必要に応じて住民説明会の開催等も検討することとなった。

- ・ 歩道の付替ルートの検討
- ・ 歩道等の維持管理体制の構築
- ・ 羅臼湖の利用ルールの作成
- ・ 歩道入口の整備等に関する調整